

As your partner.

Nishitetsu Group company magazine
西鉄グループ誌

マチユメ

Jan. & Feb. 2022

1 & 2

2022
発進、西鉄。

マチユメ Jan. & Feb. 2022 1 & 2

西日本鉄道株式会社 広報・CS推進部発行(通刊1030号) 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目5番7号

制作 エン・エム・エス・エス株式会社

ち12名と心を合わせ、新年最初の日本一決定戦から、それぞれの今年の「レース」をスタートさせているのだ。そう思っている。

彼らの走りは、企業としての西鉄の〈闘志〉を映し出す鏡。情熱、勇気、志、チャレンジ精神、意地、粘り、プライド、そういったものをすべてをタスキに宿し、己の境界線を乗り越え、7区間100kmを駆け抜けているはずだ。

「境界線」を超えてゆけ！

1月1日。西鉄の新年の幕開けを象徴するのが『陸上競技部』である。2022年も幸先よく「元日ダッシュ」！〈第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会〉から、西鉄、発進だ！もちろん、この〈マチユメ〉を手にとっている時は、すでにレース後。結果が出ている。しかし、結果がどうであれ、西鉄グループ社員総勢約18000名は、彼ら陸上競技部員た

西鉄陸上競技部

主将	野中 久徳 (31歳) [福岡] 東海大学
副主将	篠原 義裕 (31歳) [山口] 法政大学
	石田 和也 (37歳) [福岡] 東海大学
	マエンバ・ダニエル・キプケモイ (25歳) [ケニア] ソコ高校
	東 森拓 (27歳) [大分] 上武大学
	古賀 裕樹 (25歳) [福岡] 山梨学院大学
	和田 照也 (25歳) [福岡] 専修大学
	久保 和馬 (25歳) [福岡] 山梨学院大学
	甲斐 翔太 (30歳) [熊本] 日本体育大学
	大保 海士 (23歳) [福岡] 明治大学
	山口 武 (23歳) [福岡] 東京農業大学
	河東 寛大 (23歳) [鹿児島] 國學院大学

※[]は出身地

まちに、夢を描こう。

Nishitetsu
Group

夢物語

SPECIAL
2022

新年代表メッセージ

多様な 力と知恵で 再起動！

西鉄グループ代表
はやしだ こういち
林田 浩一



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、年明けから三度にわたって緊急事態宣言が発出され、秋口まで感染が収束することはなく、コロナとう付き合っていくかを考えさせられる大変難しい1年でした。感染収束に向けては、まだまだ不確定なところも多く、決して安堵できる状況ではありませんが、本年は、聖域なき構造改革を確実にやり遂げるとともに、ポストコロナを見据えた成長戦略を速やかに実行に移して、グループのV字回復を果たし、西鉄グループの発展の新たな歴史の幕開けとしたいと考えております。グループ一丸となって、新たな気持ちで、頑張つてまいりましょう。

本年は、当社が参画している青果市場跡地の『ららぽーと』や旧大名小跡地の再開発事業が続々と開業を迎えます。福ビル街区は2024年度の竣工・開業を目指して、いよいよ新築工事に入ります。天神大牟田線の連立事業も各駅の新しい顔が少しずつ見えるようになってきました。首都圏や海外での不動産案件、オンデマンドバス『のーと』の事業も順調に拡大を続けることができています。ホテルでは、福岡祇園や台北、バンコクでは2号店と2023年の開業に向け順調に工事が進捗しています。また、国際物流でも、海外ネットワークのさらなる拡大に加え、九州発着の輸出入貨物の取り扱いの拡大に向け、福岡空港至近にロジスティクスセンターを来年9月に開設する準備も進んでまいります。

この他、観光復活に資する取り組みや、持続可能な交通体系の構築、デジタル技術の活用などを新たな成長戦略に盛り込むとともに、ESG・SDGs、カーボンニュートラルへの対応を織り込んだ新たなビジネスモデルの構築にも取り組まれているところです。こういった施策をはじめ、本年は、ポストコロナの事業モデル構築に道筋をつけながら、挑戦的な成長戦略を次々に繰り出し、新たな西鉄の姿を打ち出していきたいと思っています。もう、コロナ前の元の需要が戻り切ることとは、ありません。過去にとらわれず、ポストコロナの社会の潮流を敏感に捉え、社内外の多様な力と知恵を集め、新たな視点でのスケール感のある取り組みに思い切って挑戦してまいります。

お客さまへの接客、上司への説明、家族や友人との雑談、私たちの生活は数えきれないほどの「コミュニケーション」で成り立っています。何気ないひとつひとつのコミュニケーションを、思いやりを持って大切に積み上げてください。コミュニケーションは「心」のキャッチボールです。どのような言い回しをすれば相手が理解しやすいか、相手の質問の意図は何なのか、どういった声かけをすれば相手が喜ぶか、この言い方で相手は傷つかないか、発言する前に一瞬呑み込んで、想像を巡らせることが大切だと思います。時には厳しい議論や指導が必要な場面もあるかもしれません。注意すべきは、自分の物差しだけで、相手が傷つかないで勝手に決めつけないことです。自分にとっては何でもないことや、これまで職場でまかり通ってきたことであっても、相手は心にダメージを負うこともあります。ハラスメントになることを恐れて、委縮して当たり障りないコミュニケーションに終始したり、コミュニケーション自体をやめたりしてはいけません。多様な価値観があることを認め、相手の特性を理解して、思いやりを持って、接していただければと思います。社長就任時に、柔軟で機動力に富んだ企業文化を強めていく

と申し上げました。そのために、「密なコミュニケーション」を重ねてください。とのお願いもしました。会議や打ち合わせで発言しにくそうなメンバーがいたら、意見を聞いてみてください。他愛もない会話に入りづらそうなメンバーがいたら、話を振ってみてください。

明るく、前向きで、思いやりあるコミュニケーションが、信頼感ある人間関係を築き、元氣な職場を生み出します。ひとりひとりが、勇気をもって一歩踏み出すことがスタートです。

お客さまへの会話・接客も同様です。マニュアル等で決まっている定型句を正しくお伝えするのはもちろん、お客さまの特徴や雰囲気をよく観察し、必要に応じてより丁寧にお伝えしたり、少し補足の言葉を付け足したりするだけで疑問やお困りごとが解消し、親切な接客だったと感じていただけます。どの業種であっても、思いやりを持って、お客さまのニーズに対し想像力を働かせて、自社都合でなく、お客さまに寄り添った接客を心掛けてください。そうすれば、「ありがとう」という言葉や笑顔という形で嬉しいご褒美がいただけるはずですよ。

その積み重ねが、西鉄グループのファンを増やし、西鉄ブランドを向上させることにも繋がります。

私たちの事業で最も優先されるのは、お客さまの「安全・安心」であり、全ての事業の根幹であるとともに、長年にわたって築き上げてきた西鉄ブランドの源泉です。年頭にあたり、改めて、このことを肝に銘じていただきたいと思います。どんなに時代が変わろうとも、「安全・安心」を最優先するという姿勢だけは、絶対に変わりませんし、変えてはいけません。

「安全・安心」に対する取り組みを愚直に継続し、いっそうの高みを目指して、飽くなき努力を積み重ねてまいります。

2022年は、西鉄グループがコロナ禍の落ち込みから勢いを盛り返し、将来にわたる力強い成長へと「攻め」に転じる、再起動の1年です。必ずや構造改革を完遂し、ポストコロナの事業モデル構築に道筋をつけるとともに、成長戦略に果敢に挑み、将来、「2022年が新たな西鉄グループの成長ストーリーの始まりだった」と語り継がれるような、素晴らしい年にしたいまいります。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

発進、西鉄。2022

「境界線」を超えてゆけ！

逆境の中の息吹。

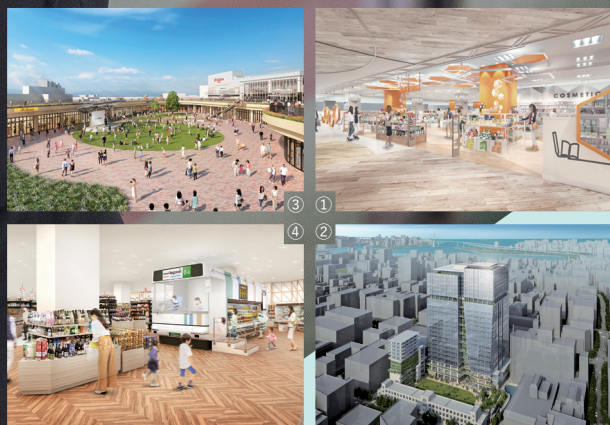
乗り越えた先こそ、
「原点ゼロ」。

試練との境界線

01

世界を一変させた新型コロナウイルス感染拡大の脅威。2021年は前年を上回るその猛威に脅かされ続けた一年でしたが、私たちはそんな逆境の中にも新たな息吹をもたらしていました。まず、2月に『ソラリア西鉄ホテル札幌』が開業。グループホテル念願の「北」の大地への初出店となったことは、コロナ禍に灯った希望の光でした。しかし、コロナ禍での開業準備は過酷を極め、スタッフ全員で乗り切った開業日当日は喜びもひとしおであったことは言うまでもありません。

一方、夏には県内8店舗目の『雑貨館インキューブ』が〈アクロスモール



①全国18店舗目の『雑貨館インキューブ』
②天神ビッグバンの西のゲート「スタートアップ&グローバル」新ビジネス拠点となる、ホテル・オフィス・商業の複合施設。12月には竣工・全体共用開始、年度内には九州初の『ザ・リッツ・カールトン（ホテル）』も開業予定！
③④『ららぽーと福岡』。西鉄ストアは新ブランド『レガネット DAILY ENTERTAINMENT SQUARE』をオープン予定。

春日」内にオープン！地域の暮らしのニーズをサポートする存在となっています。

さて、2022年。今年もとも華やかな話題となるのが『ららぽーと福岡』の開業です。併せて『キッザニア』『おもちゃ美術館』が九州初進出。そして冬にはいよいよ、〈旧大名小学校跡地活用事業〉がその姿を現し始めます。このように、今年は「原点ゼロ」からの復活！西鉄の重点戦略③〈持続可能で活力あるまちづくりの推進〉が、とりわけ大きく花開く年となりそうな予感です。

As your partner.

マチユメ

Jan. & Feb. 2022 contents

1 まち×夢 Story

多様な力と知恵で再起動！

4 特集

発進、西鉄。2022

「境界線」を超えてゆけ！

- ・試練との境界線 逆境の中の息吹。
- ・新境地との境界線 西鉄の元気印、奮闘。
- ・新価値との境界線 新しい時代に、備えよ。
- ・まちとの境界線 まちと、ともに。
- ・栄光との境界線 思い出は永遠に。

11 RUNning is a LIFE !

vol.6 陸上競技部の「頭脳」。

12 Group Topics

14 人事オーライ！

editor's comment

最

近、社内外の方に「西鉄グループ誌おもしろいね」、「写真カッコいいね、変わったね」という有難いお声を沢山いただきます。これも偏に、制作協力いただいているラブレフェム国際放送を筆頭とした関係者様、リニューアルのルールを敷いてくれた前任の広報担当者、そしてご出演いただいている皆さまのご協力あつてのことです。この場を借りて感謝申し上げます。

そして、本号は、コロナ禍の中で半期決算黒字化を果たし、さあ新しい一年に向かって走り出すんだ！というイメージを、二年振りにニューイヤーマスク出場を果たした陸上競技部の姿と重ね、前進していくイメージそのまゝを表紙で表現しました！（頑張れ、陸上競技部！）

これからの、皆さんに愉しんでいただけるような誌面となるよう努力してまいりますので、今後とも『マチユメ』をよろしく願います。（原田）

2

022年、初号となるマチユメの表紙を飾ったのは、見事ニューイヤーマスクの出場を果たした《陸上競技部》のみなさん！表紙から裏表紙までを使い、広げて見ていると12名の選手たちがトッポスピードで駆け抜けていくような勢いのあるデザインに仕上がりました。ご協力いただいた選手のみならずには真剣な表情で写っていただいた



2022年も全力疾走を誓う12名。チームのモットーは、「走り」を通して、夢を描く。

ていますが、実は撮影中はお互いになんとか笑わせようと必死で、レース中には見られないような茶目っ気たっぷりの一面も垣間見ることができました（笑）

ところで、この写真はどこかのスタジオで撮影したわけではなく、なんと『ラクレイス西新レジデンスチャルタワー』の屋上で撮影したもの。何も遮るものがない場所、ということで選んだこの場所は、29階建て・地上約100mの高さから福岡のまちを360°パノラマで一望でき、街なかにある意外な絶景スポットでした！（山口）

この印刷物は環境に優しい植物油インキを使用しています。



マチユメ Jan. & Feb. 2022

マチユメ Jan. & Feb. 2022

「今、できること」を始める
ひらめきを行動に移そう！

「今、できることからやってみよう」。
研修センターのフェンス沿いにずらりと並んだバスの写真がそれを物語っています（写真右）。9月17日、台風14号接近に備え、近隣の住宅への風除け対策として教習車を並べて防風壁をつくったのです。いつもならまちなかを走っているバスが、災害時は壁となり、盾となる。これも「安心と安全」につながる取り組み。そのひらめきは地域住民の方々を喜ばせました。



この活動は過去の台風襲来の際に始めたのがきっかけ。地域住民の方には毎回好評だとか。

「予定調和」を卒業
「読みたくなる！」の追及へ

「“元気印”たちの活躍をもっと濃く深く伝えたい！」と、日々研鑽を重ねている私たち「広報課」も、2021年は新境地を拓くことができました。『社内報アワード2021』にて、応募総数228社・511企画の中から、当誌『マチユメ』紙版がゴールド賞を、Web版がブロンズ賞を受賞！これまでのやり方を一度“ゼロ”に戻し、本当に伝えたいことを、伝えたいやり方で書いてみる。そこに集中した一年が報われたと思います。



紙版（19P以下）部門で受賞した『マチユメ』のバックナンバー。Web版とともにグループとして嬉しい初受賞となった



「有効活用」で万能の“ハコ”へ
乗り切った“スピード最優先”

さて、『博多国際展示場&カンファレンスセンター』は、MICE開催需要の取り込みを目的とした、西鉄グループ初&西日本最大の民設コンベンション施設として2021年4月にデビューしました。それが、社員全員を対象とした「ワクチンの職域接種」会場になるとは想像もつきませんでした。新型コロナ感染症の早期収束に向け、速やかに社会貢献を優先。政府が目標とする1日100万回の接種体制構築を実現すべく、グループの従業員を対象に、6月23日より合計約12000人分の接種を実施しました。

「方法論」は問わない！
私たちのSDGsをゆく！

つ、『西鉄エアサービス（写真右）』も重点戦略⑥（ESG/SDGs視点での取り組み強化）に挑戦しています。2020年12月、創立30周年を機に行った「オリジナル制服のリニューアル」の際、使わなくなった大量の旧制服を『福岡市障がい者就労支援センター』経由で5ヶ所の事業所へ提供したのです。

「身近に、私たちに貢献できることはあるのだ」と実感したという。



市内有数の広さとなる約3,000㎡のホール2室と16の会議室を備えており、大規模な展示会、会議から研修、パーティーまで多種多様に利用できる『博多国際展示場&カンファレンスセンター』。

西鉄の 元気印、 奮闘。

創造と、想像。
その「扉」を
開けよ！

新境地との
境界線

02



自転車折りたたまずそのまま車内に持ち込める「サイクルトレイン」の実証実験。西鉄天神大牟田線の対象列車（一番大牟田側の車両の1両が自転車持込可能）で展開された。持込み料金は無料、乗車運賃のみ。※実証実験は12月12日（日）で終了



スタッフはリハーサルからすべて対応、クライマックスのプロポーズはデザートにチョコレートボールをフォークで割ると婚約指輪が出てくるというサプライズ演出！1日1組限定のサプライズ企画が成功した瞬間だ。

コロナ禍で最も辛かったことは、「人」の動きが止まったことでした。電車・バス、ホテルや商業施設といった、西鉄の「元気印」は真っ先に苦戦を強いられた部署。しかし、一昨年来凌駕する彼らの善戦は、社員全員に多大な勇気を与えたのではないのでしょうか。これから紹介する取り組みの数々に共通していたのは、「創造」と「想像」両方の「扉」を開いたことでした。

過去の非常識は
明日からの「新常識」に！

たとえば、〈サイクルトレイン実証実験〉は沿線地域のにぎわい創出を目指すとともに、コロナ禍で密を避ける移動手段として注目された〈自転車〉の特性を生かしたものでした。自治体ツーリズムを視野に入れた観光需要の喚起にもアプローチしながら、「地球

環境にも貢献」という、三拍子揃った良策となりました。「電車内に自転車をも！」：それまでの非常識も、ちょっと目線を変えればこれからの「新常識」になる。このような発想の転換は、実行はコロナ禍に得た価値ある気づきの一つです。

たった一人の
お客さまのために！

ホテルマンが総勢で取り組んだ感動のドラマもありました。9月、『西鉄グランドホテル』に、「彼女へのプロポーズにサプライズ演出をしたい！」という男性が、料理長に扮したコック服姿で厨房に立っていました。その男性は事前にシェフに習っておいた肉料理を調理、彼女のいるテーブルでブランドの炎が立ち上るサプライズ演出をみごと完遂！最後に、デザートにチョコレートボールに仕込んだ婚約指輪でプロポーズすると、女性も号泣するほどの喜びようで、これにはホテルスタッフたちもみなもろい泣きしてしまったそうです。ホテル業のプロたちがたった一人のために費やした時間より、「本当に大切なものは何か」という哲学の重みを大切にしたい。ホテル料理長によるサプライズサポート企画「パパのレシピ」は、スタッフたち全員で思索し、切り拓いた新しいビジネスの形でした。

アフターコロナに向け、私たちはいつでもスタートダッシュができるよう、前傾姿勢で日々に臨む覚悟が必要ではないでしょうか。近い将来、すべてを隔てていた「扉」が再び開き、境界線が姿を消す日は必ずやって来るのですから。

「観光需要」復活に、備えよ。 高速バス・観光列車の成長

これまでの料金体系にメスを入れ、



<レールキッチンマルシェ>では、九州一のキノコの産地・大木町の『道の駅おき』より、希少品種<ヌメリシギタケ(博多すぎたけ)>などのキノコのもぎ取り体験も！



<LINEで順番待ち>は、長年の課題であった待ち行列解消のサービスとして注目を集めた。



<ちよいよか>は「サブスク」全盛の時代、所有からシェアへと移り変わる暮らし方の新価値は今後も伸びていくことが予想される。<ちよいよか>そんなニューノーマル時代にフィット。



オンデマンドバス
<のーと>

テクノロジーの進化を 事業に取り込め！

さて、加速するDX時代を生き抜くためには、新事業、とくにテクノロジーの分野にはぐっと視野を広げる必要があります。〈ソリューション提供型事業〉の始動も西鉄にとってはこれからの強い武器。お客さまのリクエストに応じてAIが適宜ルートを設定しながら運行するオンデマンド型の乗合交通サービス〈のーと〉の外販事業もその一つです。2020年より全国に展開、長野県塩尻市に続き、2021年は福岡県宗像市、大阪市平野区まで広がりました。

一方、地域の人々の暮らしの中に浸透し始めたサービスも生まれています。LINE Fukuoka(株)と「LINEを活用した西鉄グループのDX推進に関する連携協定」を締結。

高速バス事業では昨春より夜行高速バス『福岡〜東京線(はかた号)』に、〈ダイナミックプライシング型運賃制度の導入〉を開始しました。お客さまの利便性の向上はもちろん、飛行機や新幹線に負けない、競争力の強化にもつながる施策となりました。また、〈SUNQバス運営委員会〉(事務局：西鉄)でも九州の観光地を盛りあげようと、アイドルグループ「LineQ」をアンバサダーに任命、SUNQバス公式SNSを開設しました。九州の魅力を発信することで落ち込んだ観光需要の喚起に寄与しています。

また、『ザレールキッチンチクコ』では昨年好評だったマルシェを年3回の定期開催(レールキッチンマルシェ)までに成長させました。その第1弾は筑後エリアの4つの道の駅とコラボした「レールキッチンで道の駅in鉄道の駅」。旬のフルーツや野菜といった特産品の車内販売だけでなく、体験まで楽しめる企画にレベルアップ！観光列車の可能性を大きく広げたといえます。

空の玄関口「福岡空港」で バス事業が百花繚乱?!

一方、〈インバウンド〉最前線基地となる福岡空港も本格始動に向け、着々と準備が進んでいるようです。4月から国内線と国際線の旅客ターミナ

新価値との 境界線

新しい 時代に、 備えよ。

<備えよ、常に。>
今こそ、
新しい日常へ。

天神の定期券発売所や『マリナールド海の中道』のレストラン(ヘイリー)において「LINEで順番待ち」サービスを実施しました。『西鉄ストア』では土用丑の日のうなぎやクリスマスケーキといった季節限定商品等について、LINEでの予約注文を行いました。また、自転車や傘のほかオフィスユースにまで至るシェアリングサービス「ちよいよか」も登場。アフターコロナの外出機会を創出し、お客さまの利便性やまちの魅力向上にきつと役立っていくはずですよ。

一生に一度の大仕事！

65名の運転士が
『東京五輪』に臨んだ！



ルビルを結ぶ連絡バスに〈連節バス〉を導入。以前は常態化していた国内線⇄国際線間の連絡バスの混雑解消と、旅客需要の回復を見据えた環境改善を目指します。

時には、コロナ禍で沈みこんだ人々の気持ちにも〈ときめき〉を提供したい。屋根がなく開放的な〈オープントップバス〉は、そのシンボリックな存在になりそうです。昨秋、福岡空港とコラポレーション！ふだんはまちなかを走るオープントップバスが、空港の通常は立ち入ることができないエリアを走行する〈福岡空港ビューンとツアー〉が実施され、参加者も、関係者も、久しく遠ざかっていた「旅」への想いに胸が高鳴りました。

03



新規事業創出プログラム『X-Dream(クロスドリーム)』を立ち上げた新領域事業開発部。「こういった事業があったらいいのに」「西鉄グループだったらこんなことができるのでは？」…日々の小さなアイデアを応募してみよう！

新規事業創出プログラム 「X-Dream」、スタート

これまでの「横断組織」的プロジェクトを超え、〈イントレプレナー(社内起業家)〉の育成を目指す新規事業創出プログラム〈X-Dream〉の立ち上げは、今、最も大きなスケール感を伴った話題です。西鉄の成長の種となる新規事業は社員一人ひとりが持つアイデアから生まれます。小さな種から大きく育てるプロジェクト、今年にはあなたのアイデアを応募してみてください。



『福岡ロジスティクスセンター』は温度調整管理機能を備えた冷蔵倉庫を有し、生鮮食品・生花などの保管が可能。

新たな物流拠点を開設予定 「国際物流事業」の前進！

最後に紹介するのは、コロナ禍の西鉄を支える「国際物流事業」の現在。今秋、物流新拠点として博多区東那珂に『福岡ロジスティクスセンター』の開設を予定しています。九州における半導体・自動車・食品などの旺盛なロジスティクス需要に対応、九州とアジアを結ぶ物流の中枢拠点として、ますますその存在感を増すことでしょう。

福岡空港関連ニュースも続々だ。〈福岡空港ビューンとツアー〉では駐機している飛行機や、滑走路に離着陸する飛行機を間近に見ることができ、このツアーでしか体験できない特別な景色を提供できた。



福岡空港に導入した連節バスは全長18m、定員142名と、これまでと比べても高い輸送力を有しており、約2倍のお客さま数に対応できる上、バリアフリー対応のノンステップ仕様。車体には『FIAC』が掲げるメッセージ「FLY 100 DREAMS」を表すレインボーカラーのラッピングも！



西鉄は、昨夏に開催された東京オリンピックの輸送を受注、選手を除いた大会関係者の輸送を行いました。輸送期間は福岡市からの行き帰りを含み、7/15〜8/12の計29日間。グループ会社6社(西鉄バス二日市、西鉄バス筑豊、西鉄バス久留米、西鉄バス佐賀、亀の井バス、日田バス)も含め、総台数52台、乗務員65名という西鉄グループの総力を結集した大規模なものとなりました。うれしいことに、西鉄バスグループの取り組みである「交差点右左折時の横断歩道手前での一旦停車」がSNS等で話題に！一世一代の大舞台で、西鉄の安全に対する取り組みを示せたことは、私たちの誇りです。

2021 西鉄グループの動き		
1月	1日	ソラリアリゾートシップ「マリエラ」 運航終了
2月	1日	～北海道初進出～「ソラリア西鉄ホテル札幌」開業
	15日	LINE Fukuoka（株）と「LINEを活用した西鉄グループのDX推進に関する連携協定」を締結
	16日	西鉄グループ社員向けのスマホアプリ「にしぐる」が登場
3月	23日	「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」の車内で<マルシェ>第1弾を開催
	25日	「西鉄イン心斎橋」の売却を発表 “修正”第15次中期経営計画を策定 ～筋肉質でサスティナブルな企業グループへの変革～
	26日	「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」が福岡県屋外広告景観賞で最優秀賞を受賞
	27日	古民家宿泊施設「HOTEL CULTIA 太宰府」新たに2棟増築
	30日	関西地方初！AI活用型オンデマンドバス「のるーと」大阪での実証運行を開始
4月	1日	西鉄社長交代！倉富社長から林田新社長へ 西日本最大の民設コンベンション施設「博多国際展示場&カンファレンスセンター」開業
	3.4日	天神大牟田線の24駅にて「集中管理方式」の本格運用を開始
	23日	球団発足70周年記念「西鉄ライオンズの軌跡展」(第1弾)を西鉄グランドホテルにて開催
	28日	国際物流事業<アラブ首長国連邦>の現地法人が営業を開始 「(仮称)新福岡ビル」<DBJ Green Building 認証>のプラン認証 最高位ランクを取得
5月	13日	2020年度決算発表 経常利益が連結決算を開始して以来初の赤字
	19日	春日市、大野城市とまちづくり協定を締結
6月	18日	福岡市博多区に国際物流拠点「福岡ロジスティクスセンター」着工
	22日	シニアマンション「サンカルナ西新」開業
	23日	西鉄グループにおいて新型コロナウイルスワクチンの職域接種を開始
7月	1日	西鉄バス<福岡都心100円エリア>150円に値上げ
	10日	「マリエラ」がハウスステンボスにて運行開始
	13日	福岡市青果市場跡地開発「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」に名称決定
	15～21日	国際物流事業本部でオンライン世界会議を実施
	21日	西鉄グループでの新規事業創出プログラム「X-Dream」始動！
	23日	東京五輪開会！大会期間中、<西鉄観光バス>輸送を支える
8月	31日	さよなら「イムズ」！天神エリアの商業施設が一丸となってお別れメッセージを発信
9月	2日	ベトナム・ドンナイ省メンチャックにおける高級戸建住宅の開発を発表
10月	1日	地域マーケット部門：内定式をオンラインで開催
	7日	グループ誌「マチュメ」が<社内報アワード2021>ゴールド賞受賞
	23日	西鉄天神大牟田線で「サイクルトレイン」の実証実験を開始
11月	3日	ニューイヤー駅伝への切符を手に！西鉄陸上競技部が第58回 九州実業団毎日駅伝大会で7位
	17日	web版「にしていニュース」サイトオープン
	19日	相次ぐ鉄道事件に備えて、西鉄電車で緊急事態を想定した訓練を実施
12月	30日	「かしいかえん シルバニアガーデン」閉園

※前身の『香椎チューリップ園』時代を含む



思い出は永遠に。

生き続ける「西鉄史」。
新たな1ページの始まり。



栄光との境界線

05

1993年に運行を開始した、ウォーターフロント開発が進む博多湾を周遊する、福岡で初めての本格的なクルージング船『マリエラ』が、昨年元日に運航を終了しました。福岡タワーやドームなど、当時開業したばかりの新施設を海から眺め、本格的なフレンチのフルコース料理を楽しめる“小さな旅”は、まさに「海の上の貴賓席」というコンセプトそのもの！約130万人のお客さまにご利用いただきました。

そして、年の瀬迫る12月30日、福岡市唯一の遊園地として3代にわたる「福岡っ子」たちの思い出を記憶に刻み続けてきた『かしいかえん シルバニアガーデン』が、惜しまれながら、83年※という長い歴史の幕を閉じました。

このほか『西鉄イン心斎橋』も閉館、この3月には『西新パレスボウル』も閉鎖が決まっており、私たちは相次ぎ西鉄の“ときめき”のシンボルを失うことに。しかし、それらは今後「西鉄史」の中で生き続けます。一ページ一ページを開けば、いつでも、時代の激流の中に生きる私たちをきつと励ましてくれるはずですよ。

「まちに、夢を描こう」。西鉄の企業メッセージのとおり、私たちの仕事はすべて「まち」とつながっています。『HOTEL CULTIA 太宰府』では、昨春、新たに2棟を増築。この事業は、太宰府の観光まちづくりと、滞在型観光への転換を目的としたものですが、コロナ禍における分散型・ソーシャルディスタンスが確保できる宿泊施設としても話題を集めていました。この施設が拠点となり、観光客の回遊性の向上や、滞在時間が増加しました。これを機に2020年には太宰府市と包括提携を結びに至っています。

2021年5月には、福岡県が進めている西鉄天神大牟田線（春日原）下大利（連続立体交差事業における高架化を契機に地域の魅力向上を図るため、春日市・大野城市ともまちづくり協定を締結しました。高架下空間のにぎわい創出、地域の特性やニーズに応じたまちづくりと魅力発信に、西鉄は両市と協働で取り組んでいます。

ざっしよのくま
「雑餉隈駅」に大歓声！
80名の小学生が
新駅見学会に夢中！

今夏、雑餉隈～下大利駅間の高架切替が行われます。そこで、地元の小学6年生約80名を招いた現場見学会を実施しました。子どもたちは線路上を歩いたり、ホームから足をブラブラさせてみたり、時には熱心に質問を投げかけるなど思い思いの時間を過ごしました。雑餉隈駅の外装コンセプトは「歴史を受けつぎ、未来につなげる親しみのエントランス」。かつて、この地が太宰府往還の宿場町であり、旅籠や茶屋、食糧倉庫が軒を並べていたとされることからモノクロトーンを主体とし、穀物を連想させる「黄はだ色」を要所に用いました。また、バイク部品メーカーの創業地であることから「金属」を連想させる素材を使用しており、雑餉隈がこれまで紡いだ新旧の歴史を表現したデザインとなっています。



『西鉄バス北九州』では車両カラーも一新！安部山公園をはじめとする小倉南区の公園に美しく咲く桜をイメージしたもので、お客さまからは「さくら色のバスに、沈んだ街が元気づけられたよう！」と喜ばれている。

まちと、ともに。

ボーダレス。
どこまで行っても
私たちの土台は「まち」だ。

まちとの境界線

04

一体となつて一刻も早く都心部のにぎわいを取り戻す！」と、夏に「天神・博多乗レール買エールチケット」の販売を開始したのです。参画する商業施設で利用可能な「1000円分のショッピングチケット引換券」をセッ トにした土日祝限定のお得な乗車券は、大変好評でした。

また、北九州市では持続可能な公共交通ネットワーク再構築のため、『西鉄バス北九州』が7月、新ルートに連節バスを導入しています。恒見く小倉線を1日12往復、特別快速系統で運行。この沿線は通勤通学や買い物でバスを利用するお客さまも多いエリアで、車体が大きく座席数も多い連節バスが、まちのシンボルとなることを願っています。



古民家宿泊施設『HOTEL CULTIA 太宰府』。第2棟『好古亭(こうこてい)』と第3棟『梅花(ばいか)』を増築。

西鉄、「黒字」発進！ 事業モデル変革、前進！

物流業における国際物流事業で輸出入取扱高が増加したことや、運輸業やレジャー・サービス業で新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などで需要が低迷したものの、前年同期からは回復したことから増収となりました。ま

た、国際物流事業の増収や、運輸業やレジャー・サービス業での損失幅の縮小に加え、引き続きコスト抑制に努めたことなどもあり、営業利益は4億円、経常利益は6億円の黒字を確保することができました。

第2四半期連結営業収益

1,877億円
(前年同期比 24.2%↑UP)
経常利益6億円
(黒字化)

※カッコ内は前年同期比

【運輸業】(11.5%↑UP)

感染症の影響を大きく受けた前年同期からの反動、運賃・ICポイント施策の見直しにより増収、損失幅の縮小となった。

【不動産業】(31.2%↑UP)

新規物件の開業費などはあったものの、分譲マンションでの販売戸数の増加や、商業施設での賃貸収入の回復などにより増収増益となった。

【流通業】(9.7%↓DOWN)

ストア事業での会計基準の変更や、巣ごもり需要の反動減により減収減益となった。

【物流業】(58.4%↑UP)

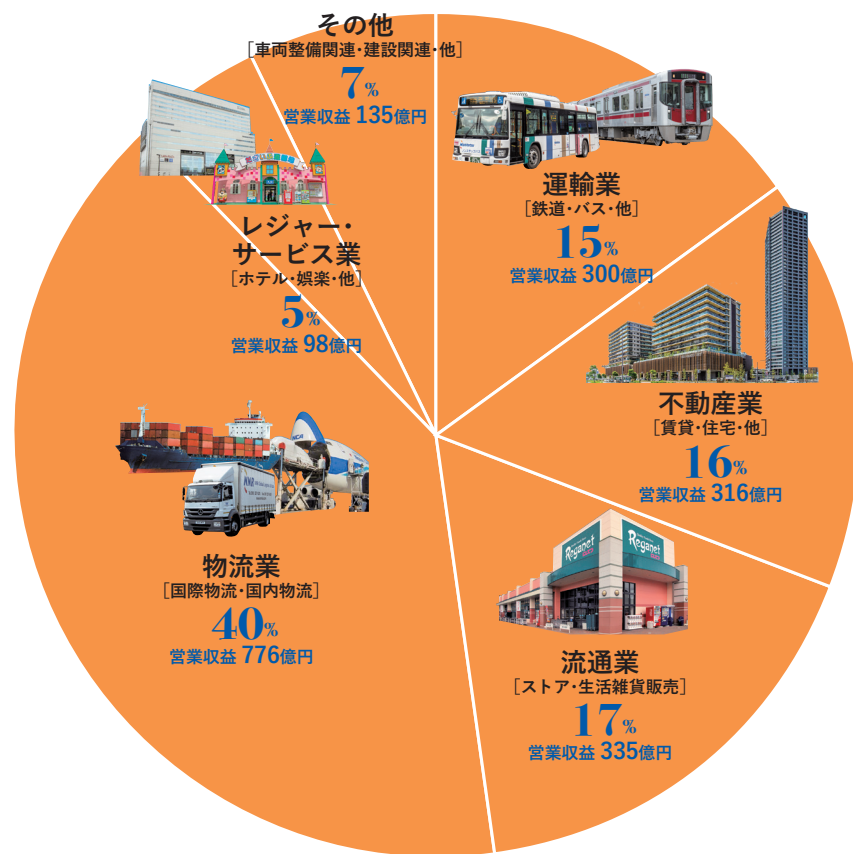
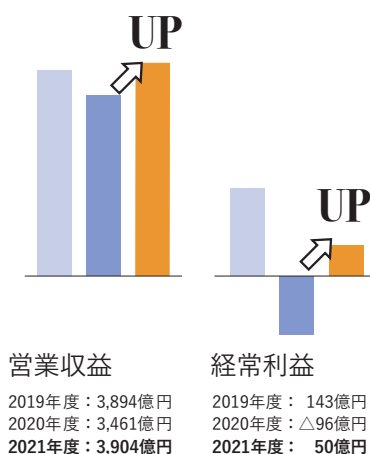
国際物流事業では、海外経済の改善などによる輸出入取扱高の増加により、増収増益となった。

【レジャー・サービス業】(13.9%↑UP)

ホテル事業や旅行事業において、感染症の影響を大きく受けた前年同期からの反動や、不採算店舗の整理・縮小等により増収、損失幅の縮小となった。

【その他】(17.7%↓DOWN)

会計基準の変更により減収となったものの、金属リサイクル事業での鉄スクラップ相場等の上昇による粗利の増加などにより、増益（黒字化）となった。



詳しくは、西鉄グループHP企業情報から決算短信（11月10日発表）または、決算説明会資料（11月22日発表）をご覧ください。

西鉄グループ【2021年度】 第2四半期決算報告

年度の業績予想については、たび重なる緊急事態宣言の影響などにより、鉄道事業およびバス事業での旅客人員の回復や、ホテル事業での稼働の回復が当初の想定から遅れている一方、国際物流事業での輸出入取扱高の増加や住宅事業での分譲

販売区画数の増加などがあり、3,904億円（前年比+12.8%）となる見込みです。引き続き、“修正”第15次中期経営計画に基づいた事業モデルの変革に取り組み、「筋肉質でサステナブルな企業グループへの変革」に努めてまいります。

RUN_{ing} is a LIFE!

vol.6 | 陸上競技部の、“頭脳”。



ニューイヤー駅伝から、発進！

2022年最初の日本一決定戦＜第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会＞、通称、ニューイヤー駅伝。今年は東京五輪代表として世界と闘った日本のトップ選手が、戦場となる群馬に一挙集結、激戦が予想されていました。

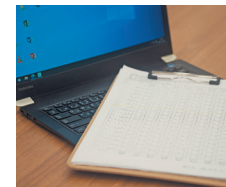
西鉄陸上競技部も、7区間全長100kmに渡る大舞台で、全身全霊でタスクをつないでいきました。この闘いの司令塔が、監督・コーチ・マネージャーの3人です。有隅剛志監督が思い描くチームの一年、その全体像に沿って山本弘志コーチが月動計画を立てる。そして野口直人マネージャーがすべてを脇で支える。部員12名が思いきり、練習にレースに没頭できるのも、3人の豊かな知恵と、心強い経験値があるからです。「走ることはもちろんすべての中心ですが、走る以外を強化することも必要です」と、有隅監督。フィジカル（身体）だけでなく、メンタル（精神）が結び合って初めて、ランナーの走りに強さがのるということです。「根性といった類いではなく、スポーツメンタルの視点から彼らのメンタルにアプローチし、パフォーマンスを引き出すのです。そのために、選手のメンタル状況を数値化したシートの活用や、専門家からのアドバイスを受けながら取り組んでいます」。

ところで、今年の闘いを前に戦略に関わるところもしっかり聞いておきたい。西鉄陸上競技部の＜強み＞について尋ね

てみると、「今年は新しく入った3人（山口・河東・大保）のフレッシュさは大きいですね。チーム全体が活性化し、中堅・ベテランの底力もぐっと強みを増しています」と、頼もしい答え。「ここに社員のみなさんの応援が加われば、走者はレース中にさらに力を得ます。＜野中、がんばれー！＞＜西鉄ががんばれー！＞と、声をかけてください。ぜひ、名前で呼んであげてください！」。山本コーチが、昔現役だった当時を思い出しながら教えてくれました。「この状況下（コロナ禍）でも走らせてもらっていることに、私たちも選手も感謝しています」と、野口マネージャーらしい心遣いも。

「流れというもの的大事なんです。レースにいい流れをつくっていくこと。その想いが次のタスクにつながりますから」。

西鉄の2022年。企業の成長というレースに、いい流れをつくっていけるよう、私たちも社員全員で西鉄のタスクをつないでいきたいものです。



©陸上競技部
監督 有隅 剛志さん(西鉄人事部)／写真右
コーチ 山本 弘志さん(西鉄人事部人事課)／写真中
マネージャー 野口 直人さん(西鉄人事部人事課)／写真左

人事 オーライ all right!



西日本鉄道
大亀 肇さん
金武
自動車営業所

1990/11.29 ~ 2021/12.31



西日本鉄道
池田 和子さん
志岐
自動車営業所

1996/8.7 ~ 2022/1.12



西日本鉄道
田嶋 清次さん
柳川
乗務所

1980/3.24 ~ 2022/1.20



定年退職

長い間の勤務
ありがとうございました。



西日本鉄道
諸藤 斉志さん
九州バス協会
出向

1990/8.3 ~ 2022/1.25



西日本鉄道
西富 正豪さん
アイランドシティ
自動車営業所

2004/7.1 ~ 2022/1.18



西日本鉄道
北村 修さん
土井
自動車営業所

2007/4.4 ~ 2021/12.26



西日本鉄道
井上 博英さん
松原
自動車営業所

1982/3.23 ~ 2021/12.2



西鉄バス北九州
松本 茂樹さん
営業本部
計画担当

1992/6.4 ~ 2021/8.4



日田バス
梶原 高志さん
日田
バスターミナル

1994/1.7 ~ 2022/1.31



日田バス
山室 恭一さん
日田
営業所

1993/11.1 ~ 2021/12.31



西日本鉄道
石井 英一さん
西鉄エンジニアリング
出向

1980/3.24 ~ 2022/1.20



西鉄バス北九州
佐藤 一郎さん
戸畑
自動車営業所

1993/8.3 ~ 2021/11.28



西鉄バス北九州
立石 幸夫さん
青葉
自動車営業所

1980/3.24 ~ 2021/10.16



西鉄バス北九州
山時 慶之さん
青葉
自動車営業所

2006/3.28 ~ 2021/10.9



西鉄バス北九州
宇都 浩さん
弥生が丘
自動車営業所

1999/11.23 ~ 2021/10.9

※西鉄バス北九州の5名については、掲載遅くなり失礼しました。(西鉄バス北九州 総務担当)

入社おめでとうございます。よろしくお願いいたします。



入社

西日本鉄道
西鉄バス二日市
出向
木戸 亮司さん
2021/10.12 入社

西日本鉄道
西鉄バス宗像
出向
馬渡 翔弥さん
2021/11.16 入社

西日本鉄道
西鉄バス宗像
出向
坂田 航平さん
2021/11.16 入社

西日本鉄道
百道浜
営業所
久保 朝弘さん
2021/11.2 入社

福岡小松フォークリフト
サービス部
藤瀬 由梨奈さん
2021/11.1 入社

西鉄観光バス
運行部 運行課
北九州支社
池田 勝利さん
2021/10.6 入社

西日本鉄道
西鉄バス二日市
出向
土井 大輔さん
2021/11.16 入社

西日本鉄道
西鉄バス二日市
出向
内村 久俊さん
2021/11.2 入社



Web版「マチユメconnect」
タイムリーに社内重要情報やお得情報をお届け中！！



筑豊電気鉄道

11月13日



「ゆめをそだてよう！」 小学生が“アテンダント体験”

「ゆめをそだてる」を合言葉に小学生が勤労・納税・消費活動といった経済サイクルを学習する『黒崎子ども商店街2021』に参加。4名の小学生がちくてつ電車のアテンダントを体験、営業列車内で、車内案内や両替の仕事を体験しました。

陸上競技部

11月3日



〈毎日駅伝〉7位でゴール！ 7区80.2kmを力走！

西鉄陸上部は11月3日に開催された『九州実業団毎日駅伝大会』において、新人の大保・山口・河東選手を含めた7名の力走でタスキをつなぎ、7位でゴール！元旦に開催される『全国実業団対抗駅伝（ニューイヤー駅伝）』の出場権を獲得！

西鉄バス佐賀

10月5日



〈バス教室〉を開催 コロナ禍、児童たちに笑顔！

鳥栖市立基里小学校2年生を対象にバス教室を実施。コロナ対策を行い、バス車内で運転席での安全確認やドア開閉操作を、車外では死角や車両装備の説明、バスの勉強とクイズを展開。児童の元気な笑い声に私たちが元気をもらいました。

西鉄バス久留米

11月18日・19日



職務と役割ブラッシュアップ 3社合同で管理者研修を実施

＜西鉄バス久留米・佐賀・大牟田＞の3社は、自動車事業本部の安全推進、業務担当、コンプライアンス人権推進課を招き、合同で32名の管理者研修を実施しました。運行管理者の職務と役割の理解を深めるなど有意義な研修となりました。

広報課

11月17日



にしてつニュースが web版で復活！

2020年5月より休刊中の「にしてつニュース」がWEBで復活！西鉄バス・電車沿線のおでかけ情報を「食べる」「おでかけ」「暮らし」の3つのテーマで発信しながら、グループのイベント情報やInstagramも定期的に更新していきます！

北九州グループ統括

11月16日



決意を新たに！ 〈北九州SDGs登録制度〉認証

北九州地区の西鉄グループ15社は北九州市創設『北九州SDGs登録制度』の第一次登録事業者となり、登録証を受領。今後は掲げた目標に取り組みつつ、個社取り組みと＜北九州市SDGs未来都市計画＞の紐付けを行いSDGs達成を目指します。

福岡小松フォークリフト

12月11日



業務で培った技術を披露 第6回安全運転技能競技大会

フォークリフトの知識・技能、モチベーション向上を目的とした本大会。今回13名が日頃の業務で培った適切な安全確認、高レベルな運転・リフト操作を発揮し合い、学科、実技競技3種目に挑戦。福岡支店・伊藤康博さんが優勝しました。

西鉄観光バス

12月5日



最後の〈福岡国際マラソン〉 24台で輸送運行を無事務める

毎年、給水所などのスタッフ輸送、並びにランナーの収容に貢献してきた当大会も昨年で最後。共同輸送業務を行う陸上自衛隊の方たちと緊張感を持って取り組みました。本年5月『世界水泳』へ向けて安全安心な運行に邁進します。

鉄道事業本部

11月19日



相次ぐ鉄道事件に備えて！ 緊急事態想定の実施

小田急線や京王線等で発生した刺傷・放火事件を受けて、西鉄天神大牟田線で同様の想定訓練を実施。車内での発煙や不審者が刃物を振り回すなど緊張感あふれる有意義な訓練となり、最後に警察・消防からアドバイスをいただきました。